



# ◆第24回関川流域委員会を開催し、 関川水系河川整備計画の変更骨子(案)等について 意見をいただきました。

## 【第24回 関川流域委員会 開催報告】

令和5年3月に気候変動を考慮して「関川水系河川整備基本方針」が変更されたことを踏まえ、現在、「関川水系河川整備計画」の変更に向けて検討を進めています。

第24回関川流域委員会では、目標流量などを示した「関川水系河川整備計画の変更骨子(案)」及び、今後の進め方等について意見をいただきました。

- 開催日時： 令和5年7月26日（水）10時00分～12時00分
- 開催場所： 高田城址公園オーレンプラザ ホール
- 内 容： ●関川流域委員会規約改正について  
●前回委員会での指摘事項  
●関川水系河川整備基本方針の変更について  
●関川水系河川整備計画の変更骨子(案)について  
●今後の進め方

### <関川流域委員会名簿> ※五十音順、敬称略

氏 名	所 属 ・ 役 職 等	備 考
阿部 利夫	上越市町内会長連絡協議会会長	欠席
阿部 義暁	新潟日報社上越支社報道部長	
梅澤 圓了	特定非営利活動法人新潟県災害救援機構 理事長	欠席
小熊 仁	高崎経済大学 地域政策学部 教授	欠席
小池 俊雄	国立研究開発法人 土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター センター長	委員長
小林 正夫	特定非営利活動法人 関川水辺クラブ 理事長	
高橋 信雄	上越商工会議所 会頭	
中川 幹太	上越市長	
野口 和広	上越農地協議会 会長	
細山田 得三	長岡技術科学大学 環境社会基盤系 教授	
松川 寿也	長岡技術科学大学 環境社会基盤系 准教授	
山縣 耕太郎	上越教育大学 大学院 学校教育研究科 教授	
横田 清士	一般財団法人 上越環境科学センター 理事・センター長	



流域委員会開催状況



小池委員長挨拶



事務局挨拶



会場全体

## 【委員からの主なご意見】



- 都市計画の観点で、家屋移転先の検討は移転先が浸水リスクの高い場所とならないように戦略的に進めて頂きたい。
- 流域治水を実施する上で流域住民の意識を変えていくことは重要であるため、防災学習の取り組みなどを整備計画に反映してほしい。
- 現在の河川内は草が生い茂り川との距離があるので、整備計画の中で親水の取り組みも盛り込んでほしい。
- 河川の維持管理にしっかりと取り組んでほしい。関川と保倉川合流部で内水氾濫が生じやすいので、この辺りの現状把握と計画の立案をしてほしい。
- 田んぼダムの効果の定量的な把握に向けて検討を行ってほしい。

## 【河川整備計画の変更骨子（案）：現行と変更案】

- 関川水系においてはH21.3の現行整備計画策定以降、整備計画の目標を上回る洪水は発生していないものの、河川整備の進捗や気候変動を踏まえた河川整備基本方針の変更を踏まえ、現行整備計画の目標治水安全度を維持したうえで、気候変動の影響を考慮した目標流量への引き上げを行う。

	現行	変更案
策定（変更）時期	平成21年3月策定	令和5年度中に変更予定※
対象期間	関川水系河川整備基本方針に基づいた河川整備の当面の目標であり、その対象期間は、概ね30年間とする。 (H21 (2009) 年度～R20 (2038) 年度)	関川水系河川整備基本方針（変更）に基づいた河川整備の当面の目標であり、その対象期間は、30年間とする。 (R6 (2024) 年度～R35 (2053) 年度) 予定※
整備目標	本支川の治水安全バランスを考慮して本川関川の戦後最大洪水に相当する規模の洪水を本支川ともに安全に流下させることを整備の目標とする。	洪水による災害の発生防止又は軽減を図るため、関川、保倉川において気候変動後(2°C上昇時)の状況においても、変更前河川整備計画（平成21年(2009年)3月策定）での目標と同程度の治水安全度を概ね確保できる流量を安全に流下させることを目標とする。
流量配分図		

※上記スケジュールは、今後の検討・調整等により変更となる場合があります。

第24回関川流域委員会 資料4より抜粋

